

わたしから始まる高知の食育

～毎月19日は「食育の日」～



体験学習でつながる食といのちの輪!

ぎょしょくたいけん 魚食体験

高知市春野町の春野漁港では、小学生の親子を対象に毎年「どろめ料理教室」を開催しています。地元の方の協力のもと、どろめについて学んだり、春野漁港で水揚げされたどろめを使って釜あげちりめん丼やどろめ(※)の天ぷら、どろめ汁など親子で楽しく調理しました。

参加者は「思ったより料理も簡単。家でも親子で作りたい」「どろめの天ぷら初めて食べた」「楽しかった、美味しかった」などの感想を聞くことができました。

このように、「食材を知る」「みんなで食べる」ことにより、地元の水産物に興味を持ち、地元でとれる豊かなめぐみや生産者への感謝の気持ちを育みます。

※「どろめ」とは、土佐を代表する海産珍味、高知の方言で「イワシの稚魚」のこと。これを釜ゆでにしたものが「しらす」とか「ちりめんじゃこ」とか呼ばれています。



釜揚げしたばかり!みんな興味深々!



親子で一緒に料理します。どちらも真剣!!



ちりめんが足りなくなる程の人気ぶり!

酪農体験



農林水産課では、例年市内の小学生を対象に、酪農教育ファームに認定されている円行寺の岡崎牧場で、農業体験学習の支援を行っています。牧場主さんからは牧場での仕事の話や牛のからだの話、いのちと食のつながりをお話していただきました。

お話のあと、子どもたちは親牛への餌やりや子牛への哺乳、ブラッシングや心音聴診を通じて牛とたくさんふれあいました。こうしたさまざまな体験によって、いのちの大切さと食へのつながりを学び、感じています。こうしてつながる食育を、これからも応援したいと思います。